



友の会 Facebook の QR コード

2025年3月1日

自由民権記念館友の会だより

NO. 70

民権の史

(伊藤 丘城 書)



民権150年記念
「五日市憲法に会いに行こう」史跡めぐり
(2025.2.13~15)
「五日市憲法」が見つかったあきる野市深沢家土蔵前

グアム・サイパンの戦跡で戦後80年に思いを馳せる

昨年、二男が突然「グアム・サイパンに行こう」と言ってきた。アメリカ領のリゾート地であり、マリンスポーツが楽しめる、戦争遺跡も見てみたかったので喜んでお供した。

グアム行きの機内で戦跡巡りをした日本人のユーチューブで事前学習したが、実際に行ってみると戦跡の多さに驚いた。まず出かけたのはグアム南部にあるタロフォフォの滝公園で、横井庄一さんが28年間潜伏して「よくぞ居（再現）を見学。まさに密林で、蒸し暑さと蚊の多さに辟易して「よくぞこんな所で！」と横井さんの忍耐力に驚いた。日本語の案内板や写真なども多数展示されていた。次に向かったのが太平洋戦争国立歴史公園。どこでも英語と日本語の説明があった。展示はアメリカ目線で太平洋戦争を紹介しているが、印象的だったのは「許せてはいいけない」との言葉。昼食のあと、小高い丘の上の公園に行く。「古い爆弾や兵器に注意！」と英語と日本語で表示。公園各所に戦争の説明板や写真、レリーフがあり、戦争犠牲者の名前が沖繩と同じような黒石に刻まれていた。そしていくつもの方角を示す矢印の板には「Battle of Saipan Total killed: 4,126」や「Guam: 21,000」「Bombing of Hiroshima and Nagasaki: 226,000」などの表記があった。最後はスペイン広場を散策して「スペインに統治され、次は日本、そして戦後はアメリカ領となったグアムの歴史に思いを馳せた。

グアムからサイパンに向かう飛行機からは、広島に原爆を投下したエノラ・ゲイが飛び立ったテニアン島が眼下に見えた。サイパンに着いてまず出かけたのは、ラストジャバニーズコマンドポストという日米最後の激戦地。大砲や砲弾跡の残る建物などを野外に展示してある公園で、今の上皇夫妻が詠んだ歌碑なども立っていた。次に向かったのがバンサイクリフとスーサイドクリフで、ともに米軍に追い詰められた日本兵や日本兵に騙された現地人約一万人が身投げした場所。バンサイクリフとは「天皇陛下万歳」大日本帝国万歳」と叫びながら多くの人が身投げしたのでつけられた名前。あたりには血の海に染まったという。ここにも上皇の歌碑があった。「安らかにねむり下さい」の碑も見られた。二男は慰霊碑に手を合わせていた。次に山の上にあるスーサイドクリフへ。「自殺の断崖」と名づけられたとおり、ここは80mほどの断崖で目の前には青い空と青い海、緑の大地が広がっている。崖の下は死体の山になったそうだ。無益な戦争の犠牲となつた人々の鎮魂と世界の恒久平和を願わずにはいられなかった。夕方には、日本人ユーチューバーが紹介していたチャランカノア米軍上陸地で、海に沈んでいる米軍の戦車を見た。サイパン最高峰のタポチョ山はサイパン島を一望できる場所だが、ここにも太平洋戦争の展示パネルが何枚もあった。アメリカ記念公園内にある第二次世界大戦博物館も見学した。

戦跡を巡るだけでなく、グアムではパラセーリングとシュノーケリング、バナボートとSUPを楽しみ、サイパンでもサンゴ礁の海でシュノーケリングを堪能した。パーベキューデイナリショーでは現地の先住民チャモロ人の歴史や文化を再現したショーも楽しんだ。常夏のリゾート地は本当に楽しかった。

今年戦後80年。戦争と平和について改めて考える年である。今回の旅では、グアムでもサイパンでも至る所に第二次世界大戦の記念館や展示があつて驚いた。戦争は二度と起こしてはならないという強いメッセージを感じた。皆さんも横井庄一さんが暮らした穴居やバンサイクリフ、スーサイドクリフなどを見て、日本が起こした無益な戦争に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。最後に2首。バンサイクリフにあつた上皇の歌「あまたなる命の失せし崖の下、海深くして青く登みたり」をコマンドポストにあつた上皇の歌「いまはとて島果ての崖踏みけりし」をみなの方裏思へばかなし」

※この欄は、友の会幹事が交代で記述しています。ご意見、ご感想は友の会までお寄せください。

2025年度

友の会総会・記念報告会のご案内

日時 **2025年4月29日(火・祝)**
 友の会総会 午後1時30分～3時
 記念報告会 午後3時～4時

場所 **高知市立自由民権記念館 研修室**
 (高知市棧橋通4-14-3 ☎088-831-3336)

友の会 総会

- 議題
1. 2024年度 事業報告
 2. 2024年度 会計決算報告・監査報告
 3. 2025年度 事業計画(案)
 4. 2025年度 会計予算(案)
 5. 2025年度 役員改選(案)
 6. 会則改正(案)
 7. その他

————— 休 憩 —————

記念報告会

- (1) 「高知県史編さん事業の概要について」

目良 裕昭氏(県文化生活部歴史文化財課県史編さん室チーフ)

- (2) 県史近代部会の取り組みについて

坂本 靖氏(同近代部会担当専門員)

【概要】

高知県は、2021年度より新しい『県史』の編さんに取り組んでいます。事業は20年に及ぶ壮大なもので、2040年までに、総計32巻程度の21世紀の『高知県史』が成就する予定です。

そこで今回の記念報告会は、県史編さん室の担当者をお招きし、現在取り組んでいる「県史」編さんの事業の現状について、報告をお願いしました。

坂本氏からは、「自由民権友の会総会においてお時間をいただきました。当日は、新しい『県史』編さんのコンセプトや私が関わっている近代部会による資料調査の概要を報告します。また併せて県史編さんの取り組みについての今後の事業へのご理解とご協力を友の会の皆様をお願いしたいと考えています」とのお声をいただいております。

お問い合わせは事務局 ☎088-831-3336 まで。

二〇二五年三月一日発行
 発行者 岡林登志郎
 発行所 高知市棧橋通 四丁目一四番三号
 高知市立自由民権記念館友の会
 TEL(〇八八) 八三一・三三三六